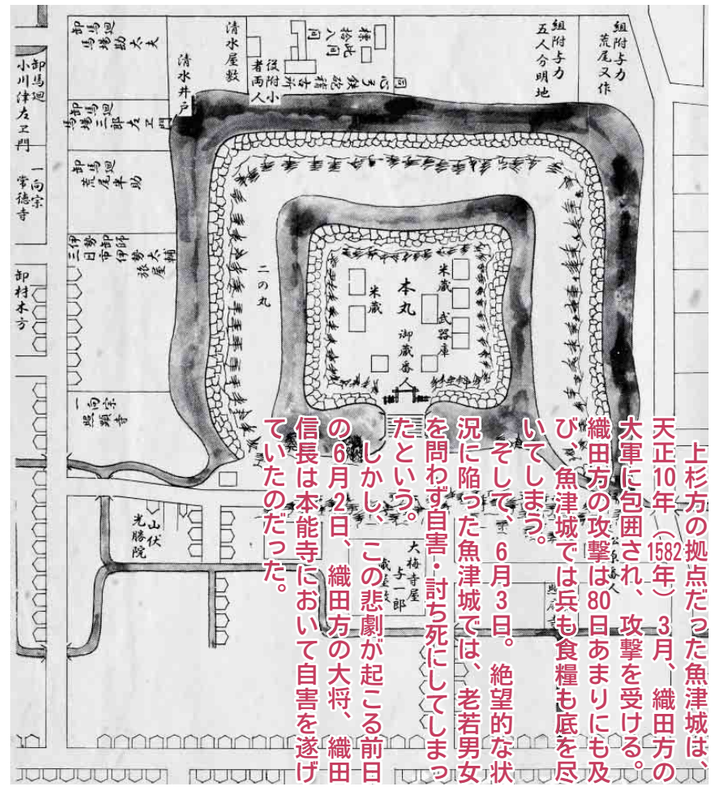


上杉方の拠点だった魚津城は、天正10年（1582年）3月、織田方の大軍に包囲され、攻撃を受ける。織田方の攻撃は80日あまりにも及び、魚津城では兵も食糧も底を尽いてしまう。そして、6月3日。絶望的な状況に陥った魚津城では、老若男女を問わず自害・討ち死にしてしまったという。しかし、この悲劇が起こる前日の6月2日、織田方の大将、織田信長は本能寺において自害を遂げていたのだった。

魚津城と上杉方

魚津城は、15世紀ごろに山城である松倉城の支城として、椎名氏に築城されたといいます。戦国時代の永禄12年（1569年）には、越後（新潟県）の上杉謙信が椎名氏を攻め（※1）、その後、上杉方が支配するようになりました。

場所は現在の大町小学校の付近であり、角川と鴨川に挟まれた沼地のため、地の利にも恵まれていたようです。また、魚津は平野部が少なく、越中（富山県）・越後を往来するには必ず通る必要がありました。そのため魚津城は、上杉方にとって、越中進出の拠点でもあり、越後への侵略を防ぐ防衛拠点ともいえる城だったようです。

※1　椎名氏は神保氏と対立した際、上杉謙信に援軍を要請し協力関係を築いていました。しかしその後、武田信玄にそそのかされ上杉方と対立。結果、上杉謙信に敗れます。

御館の乱と信長の侵攻

天正6年（1578年）、上杉謙信が死去。越後では、その養子である景勝と景虎が家督相続を争った「御館の乱」が起こります。この乱には景勝が勝利するのですが、乱は2年あまり続き、謙信時代に保っていた領土の一部を失うなど、上杉方は勢力を衰えさせてしまいます。この状況のなか、天下統一を目指す織田信長が越中、信濃（長野県）、上野（群馬県）方面から越後への侵攻を開始します。

魚津城をめぐる戦い

天正10年（1582年）3月、上杉方の数倍にも及ぶ織田方の大軍（※2）に、魚津城は攻撃をうけます。この攻撃で劣勢となった魚津城将たち（※3）は、4月23日に景勝の側近である直江兼続に、救援要請と、落城間近であり決死の覚悟であることを伝えたといいます。

その後、5月6日に魚津城の二の丸は落とされ、9日には弾薬が底を尽きます。そして、景勝がようやく援軍を率いて天神山城（現在の魚津歴史民俗博物館のある天神山頂上）に布陣したのは15日になってからでした。

対する織田方は、土塁や柵、深い堀で築いており、景勝が魚津城へ救援するのを妨害します。しかも、その間に、織田方の信濃・上野の越後侵攻が激化、上杉方の本拠地である春日山城が危険にさらされます。このため、景勝は26日に天神山城を撤退。魚津城は孤立無援状態となってしまいました。

※2　主な武将は、柴田勝家・前田利成・佐々成政などがあげられます。
※3　魚津城将には、山本寺景長・吉江宗信・安部政吉・石口広宗・若林家長・亀田長乗・藤丸勝俊・蓼沼泰重・寺島長資・吉江信景・竹俣慶綱・中条景泰・長与次などがあげられます。

落城と本能寺の変

景勝が退却し、兵も食糧も尽き、絶望的な状況に陥った魚津城に対して、織田方は総攻撃を開始します。

魚津城将は敵にくだることを潔しとせず、耳に穴を開け、姓名を記した名札をつけ、ある者は自ら腹を切り、ある者は刺し違えて散っていったといわれています。また、城将に限らず、女性や子どもも自害し、堀に身を投じたともいわれています。そうした壮絶な戦いの末、魚津城は6月3日ついに落城します。

こうした悲劇を迎えた魚津城でしたが、天下の情勢は別の場所で大きく変動していました。6月2日の「本能寺の変」です。織田方の大将、織田信長が京都で謀反にあい、自害を遂げていたのでした。

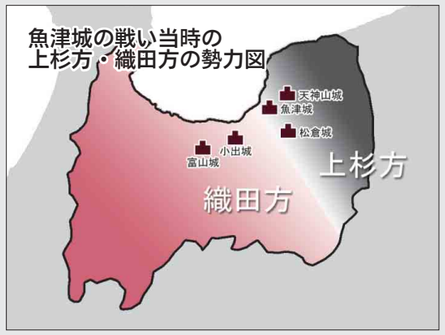
ただ、その知らせが魚津城にもたらされたのは、6月5日以後。この知らせを受けた織田方はすぐさま撤退し、上杉方は魚津城を奪還することができましたが、失った兵たちが戻ってくることはもちろんありません。

「もしも、あと数日、魚津城がもちこたえていたら…」。このとき景勝は、かけがえのないものを失い、悔やみきれない気持ちであったことは間違いありません。

上杉の家督を継いだ景勝にとって最初の試練ともいえる魚津城の戦いは、こうして幕を閉じたのでした。

魚津城の年表

15世紀	… 松倉城の支城として椎名氏が築城
永禄12年（1569年）	… 上杉謙信が攻撃
天正10年（1582年）	
3月	… 信長方が魚津城を囲み、攻撃を開始
6月2日	… 本能寺の変
6月3日	… 織田方が魚津城を攻略
6月5日以後	… 本能寺の変が知らされ、織田方が撤退その後上杉方が魚津城を奪還
天正11年（1583年）	… 佐々成政が攻略
文禄4年（1595年）	… 前田利家が領有
元和元年（1615年）	… 元和の一国一城令により廃城したとみられる



▲大町小学校にある「魚津城趾」と刻まれた石碑

歴史的にもまれな魚津城の戦い

～固い団結力を誇った兵たち～

魚津城が歴史的にも名高いのは、80日あまりにも及ぶ籠城戦によりますが、もう一つ忘れてはいけないのがその団結力です。

戦国時代の籠城戦では、裏切りが出た末の急な落城や和議による開城が主のものであったといわれています。

対して、魚津城の戦いでは約80日の籠城の間、裏切りも出さずに持ちこたえています。このように主力部隊が一糸乱れず、名誉や忠義のために戦い続けたのは非常にめずらしいことだといわれています。

2009年 大河ドラマ

天地人

1月4日(日)スタート！

1月4日(日)から、NHKで大河ドラマ「天地人」（原作は火坂雅志氏の同名小説）の放送が始まります。

主人公は、上杉景勝を支えた直江兼続。このほか、魚津城で最後まで戦った、吉江宗信、安部政吉などの登場も予定されています。

さらに詳しく知りたい方は・・・

●講談会「魚津城の戦い」～直江兼続と魚津城～
- 1月22日(木)18:00～　新川文化ホール
- 講師：宝井琴梅 氏
- 問合せ先：商工観光課 ☎23-1025
  ※無料

●魚津城の戦いホームページを開設予定！

※画像はイメージです。
詳細は魚津市のホームページをご覧ください。

※参考：歴史読本 1998年8月号 闘将直江兼続